

様式第 1（第 15 条関係）

会 議 録

会議の名称	令和 6 年度第 2 回和泉市地域密着型サービス運営委員会議事録
開催日時	令和 7 年 2 月 2 6 日（水） 14 時 4 0 分～15 時まで
開催場所	和泉市役所本館 3 階 3 A、3 B 会議室
出席者	【委員】 杉原会長、佐藤職務代理、上嶋委員、山本（尚）委員、浜田委員、友田委員、山本（佐）委員、門林委員、高橋委員、高柳委員、遠藤委員、友谷委員、溝川委員、村田委員 【事務局】 吉田副市長、西川部長、奥野室長、寺田課長、廣田総括主幹、大上総括主査、奥村総括主査
会議の議題	報告 ①地域密着型施設運営等の状況について（資料 1） ②介護老人福祉施設の公募及び選考について（運営協議会資料 3） 4. その他
会議の要旨	上記議題に関して意見交換を行った。
会議録の作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
記録内容の確認方法	☒ 会議の議長の確認を得ている ☐ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	傍聴者 1 名

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
司 会	ただいまから令和 6 年度第 2 回和泉市地域密着型サービス運営委員会を開会させていただきます。では議事進行につきましては、本委員会規則第 7 条第 1 項の規定により、会長が議長となり進行していただくことになっておりますので、杉原会長に進行をお願いいたします。
会 長	はい、わかりました。引き続きよろしくをお願いいたします。 最初に本日の委員の出席状況を事務局よりお願いいたします。
司 会	はい。本日も出席状況の報告をさせていただきます。1 名退席されましたので、総委員数 15 名に対し、現時点での出席委員 14 名で過半数出席いただいております、本委員会規則第 7 条第 2 項の規定を満たしておりますので、会議が成立することをご報告いたします。
会 長	はい、ありがとうございます。まず議事に入る前に、本委員会では公開基準に基づきまして一般公開をしております。本日は傍聴を希望する旨の申し出がございましたので、傍聴を認めておりますので、ご了承をお願いしたいと思います。 それでは次第に沿って始めさせていただきます。まずは「令和 6 年度第 1 回地域密着型サービス運営委員会振り返りについて」事務局よりご説明をお願いします。
事務局	「令和 6 年度第 1 回地域密着型サービス運営委員会振り返りについて」説明
会 長	ありがとうございます。今ご報告いただいた件につきまして、何かご意見やご質問ございませんか。 では他に質問もないようですので、次に「地域密着型施設運営等の状況について」事務局より報告をお願いします。
事務局	「地域密着型施設運営等の状況について」説明
会 長	ありがとうございます。では今ご報告いただいた件につきまして、何かご意見ご質問ございますか。 質問がないようですので次に「介護老人福祉施設の選考について」ですが、先ほどの介護保険運営協議会の方で報告をいただきましたので、こちらの方では省略させていただきます。 次にその他について、委員の皆様から、また事務局から何かありましたらお願いいたします。 特にないということですので、以上で運営委員会の議長および報告事項は全て終了いたしました。委員の皆様ありがとうございます。この後の進行は事務局をお願いいたします。
司 会	杉原会長、委員の皆様、ご意見ご審議のほど、誠にありがとうございました。それでは閉会にあたりまして、副市長吉田よりお礼のご挨拶をさせていただきます。

副市長	皆様本日も慎重審議、また多岐に渡るご議論いただきまして誠にありがとうございますございました。最後に恒例になっております全体の総括をさせていただいて、市長に成り代わりましての御礼のご挨拶とさせていただきたいと思います。両方の会議をまとめてコメントするようということでしたが、前半の会議の事務局の一部が既に退席しているので、今からお話することについては運営協議会と両方の議事録に再掲という形でしっかり載せていただくようにお願いします。 まず9期計画の進捗管理でございますが、委員の皆様方から多岐にわたるご指摘をいただきました以外にも、私が気になったことがいくつかございますが、時間の関係もあるので、後で事務局の方へ伝えておきますが、簡単に要点だけ申します。 いきいきいずみ体操の周知件数が、地域包括支援センターの圏域ごとにばらつきがあるという事務局からの報告でありました。これについては、やはり包括ごとにどういうばらつきがあるのかということをしかりお示しすべきだと思っておりますので、次回に向けて少し工夫をさせていただきたいと思います。 次に地域ケア会議についても、やはり包括ごとにばらつきがあるという報告でしたので、委員の皆様方にどういうばらつきがあるのかということをしかり次回以降見させていただくようにしたいと思っております。 次に在宅医療介護コーディネーターの相談件数が伸び悩んでおります。私が思うに「相談窓口を開いているので相談がある人は来てください」という形ではもう限界があるのかなというふうに思っております。やはりこれからは出張型とか、アウトリーチ型のコーディネーションというか相談があってもいいのかなと考えています。少し宣伝ですけれども、今議会でご議論いただいておりますが、できれば来年度から「まちの保健室」という医療と福祉の連携の拠点を強化したいと考えておりまして、ここでも在宅医療コーディネーターの活躍の場が確保できるのではないかと考えております。こういうことを通じて相談件数を伸ばしていきたいと考えております。 次も少し宣伝になりますが、ACPのフォーラムを先週末に実施させていただき色々なご意見をいただいております。これからACP普及を四つの柱で展開していきたいというふうに思っておりまして、この夏にどういうことを具体的にやっていくかをお示ししました。その一つが専門職への研修ということですが、皆さんお忙しくて、研修の場を新たに設けるというのが難しいので、今日報告にもありましたように、和泉市では地域ケア会議あるいは地域ケア推進会議に専門職が集まりますので、その場でACPについての研修をしっかりやっていくべきと思っております。 私が気になったことの最後になんですが、今日は資料の中にはありませんでしたが、この介護保険事業事務を市役所も頑張っかなり効率化していると思うんです。爆発的な認定ケースの増加に対応ということでDX化したりとか、業務を効率化し
-----	---

たりとか色々な取り組みをされていて、それが果たした役割も大きいと思うのですが、そういうことが今日の報告にはなかったもので、DX 事務を改善したことによって自分がこれだけ効率化ができていますということを皆様にご報告して、更なる DX 化と BPR に拍車をかけていきたいというふうに思っております。

それに関連して、皆様方からご指摘いただいたことですが、先ほどの医療とサービスの突合の話も出てきましたが、こういうところにも AI を入れて、自動で突合させてピックアップしたりしています。委員からご質問がありましたけど、やはり質問の趣旨は、その点検の成果はどう出ているのかということですので、これだけやっていますということではなく、少し事務局の方から説明がありましたけれど、点検した結果これだけの齟齬を発見したということを、今後はしっかりとご報告させていただきたいと考えております。

次に PTA がもうなくなっている、機能しなくなっている、あるいは一方で PTA の役割は大きいというお話もございました。教育委員会に指示指導してもらいたいというご要望もございましたが、私どもといたしましては市長から大きく号令かかっておりまして、福祉と教育の連携を進めていくということで、今のところスクールソーシャルワーカーを 1 人入れて、現場の橋渡しをすることで留まっておりますが、先月でしたでしょうか地域福祉推進協議会でも出ましたように、教育と福祉の連携というのは、そういうことだけでは駄目だよというご指摘を委員の皆様方からいただきました。介護とか、あるいは認知症に対する子供たちへの啓発も、福祉と教育の連携の一つとして、地域福祉計画の中にしっかり乗せて取り組んでいきたいと考えております。

次にこれもご指摘いただきました虐待件数についてですが、質問の趣旨は虐待の件数はどれだけあるのかということでした。それをストレートにカウントするのは難しい面もあるかと思いますが、次回、和泉市における実態はどうなのかということ、具体的にお示ししたいと思っております。今日はそれを防ぐための啓発の周知件数のお話をさせていただきましたが、それが必要な高齢者虐待の実態についてお示ししていきたいと思っております。

次に移動支援についてもご意見がございました。私達は共助バスと言っております、チョイサポシののだとかですね、ああいう共助バスに絞り込んでしまうと、どうしてもそれ一辺倒になってしまう。また担い手の問題もございまして、一気に増やすというのは困難でございます。三本柱を考えていますが、公共交通機関も踏ん張ってほしいということも、計画を立てていかないといけないと思いますし、この共助バスの他に和泉市では高齢者のお出かけ支援と称しまして今チケットの配布などをしていますが、これも時代に合った形の高齢者のお出かけ支援策へと変えていかないといけないと思っておりますので、それも進めていきたいと思っております。

次に老人クラブのお立場からご意見いただきましたが、介護保険事業の財政財務を悪化させない最大の決め手は介護予防であることは言うまでもございません。共助の

	力をいただきながら、介護予防をしっかりと進めていきたいと考えておりますので、引き続き皆様方のご協力をお願いしたいと思います。 最後に、地域支援事業について委員の方からの質問を受けて説明がありましたが、これも繰り返しになりますが、地域支援事業の財源のうち半分は市民の皆様方からの保険料で賄われることになるのは事実でございます。こちら共助の力をいただきながら、地域支援事業の財政的な効率化を図っていくべきで、市行政としてもしっかりとやっていきたいと考えております。 二つ目の地域密着型サービス運営委員会につきましては特に私からのコメントはございません。 長々と申し上げましたが、今日は多様なご指摘をいただきまして、この介護保険事業の和泉市における進捗管理にとっても役立つご意見ばかりであったと感謝いたしております。引き続きしっかりとこの介護保険事業が和泉市においても持続可能になるように進捗管理してまいりますので、引き続きの皆様方からご支援ご指導賜りますように、最後をお願い申し上げまして、私からの市長になり代わりましての御礼のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。
司会	ありがとうございました。これをもちまして令和6年度第2回和泉市地域密着型サービス運営委員会を終了とさせていただきます。 杉原会長並びに委員の皆様、長時間ありがとうございました。
	閉会